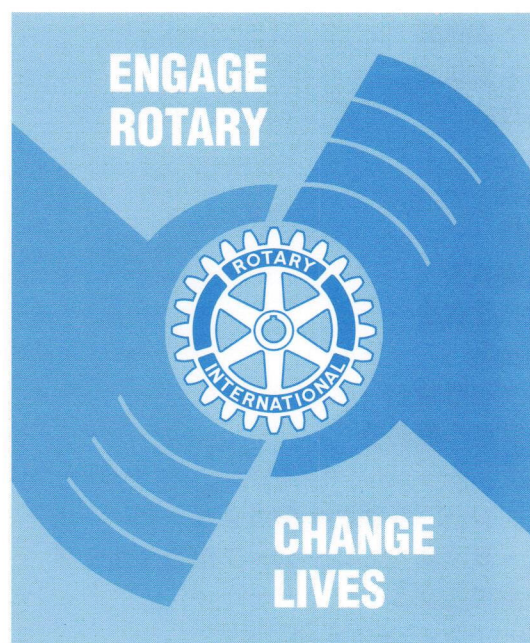


# 2013-2014

国際ロータリー 第2660地区

## 地区委員会

# 活動計画書



**2013.7.20(土)**

大阪YMCA会館

合同地区委員会

ガバナー 福家 宏

## 目次

---

合同地区委員会開催にあたって	1
ガバナー指名委員会	2
意義ある業績賞委員会	3
地区研修委員会	4
クラブ奉仕部門	
クラブ奉仕・拡大増強委員会	5
広報委員会	6
職業奉仕部門	
職業奉仕委員会	7
社会奉仕部門	
社会奉仕委員会	8・9
青少年奉仕部門	
新世代合同委員長会議	10
青少年活動委員会	11
ローターアクト委員会	12
インターアクト委員会	13
青少年交換委員会	14・15
国際奉仕部門	
国際奉仕委員会	16
ロータリー財団部門	
地区財団監査委員会	17
ロータリー財団委員会	17・18
資金推進小委員会	19
ポリオ・プラス小委員会	20
地区財団資金管理小委員会	21
補助金小委員会	22
地区補助金・グローバル補助金担当グループ	23
奨学金・学友・R平和フェローシップ担当グループ	24
職業研修チーム担当グループ	25
米山奨学部門	
米山奨学委員会	26
災害支援プロジェクト	27
危機管理委員会	28
地区大会実行委員会	29
ロータリーの友	30
地区財務委員会	31・32
予算書	34・35
地区組織図	36・37

---

# 合同地区委員会開催にあたって

ガバナー 福家 宏

(東京中野大) 天 橋 謙 吾 君 彦  
(東京中野大) 藤 守 山 賢 一 君 彦  
(南西濃大) 西 谷 大 輔 君 彦  
(美 八 ) 瀧 本 謙 本 君 彦  
(南西濃大) 藤 本 謙 吾 君 彦

## ～ 変革の時を迎えたロータリー ～

合同地区委員会は、地区役員初め各委員会が一堂に会して次年度の活動方針を発表する大切な機会です。それぞれの委員会の活動内容を他の委員会にも伝えて、委員会間の横のつながりを太くすることは、地区の強化に繋がるものだと私は考えております。

皆様ご承知のように今年度のロン・D・バートンR I 会長が示されたR Iのテーマは「Engage Rotary Change Lives =ロータリーを実践しみんなに豊かな人生を」であります。バートン氏がこのテーマに至った心の奥底には、実は One profits most who serves the best = 最もよく奉仕する者、最も報いられるというアーサー・シェルドンの標語があったということが、今年5月に広島で明らかになりました。バートン氏はR I 戦略計画を推進するには、この標語を重んじてロータリーを実践するしか無いと、そして真剣に実践すれば必ずそれは報われる、ロータリーの実践によって恩恵を受けた人々だけでは無く、自分自身の心も必ず豊かになるのですよ、と訴えておられます。私はこのR Iテーマを受けて、地区方針を決定致しました。「感動の体験を!! 人々にも自身にも」というのがそれです。そしてParticipate !! 参加し、敢行せよというスローガンを追致しました。私はロン・D・バートン会長の掲げられたテーマは素晴らしいものだと考えております。地区委員会の皆様は、どうかこのテーマの心を読み取って、今年1年のうちに明確な成果を挙げて頂きたいと思います。忙しい中で何とか時間をひねり出して奉仕を実践すれば、必ず報われることを信じて地区のため、クラブのため、ロータリアンのために力をお貸し下さいますように、心からお願いを申し上げます。

2013年規定審議会の制定案、決議案についてはご承知のことと存じますが、規定審議会の制定・決議も含めまして、今やロータリーは変革の時期を迎えています。先進国のロータリアンの数が減っている中で、私たちはロータリークラブの新しい運営形態を考えて行かなくてはなりません。例会のあり方や、IMのあり方についても、従来そのまま良いのか、真剣に考えるべき時が来ています。ロータリー財団のプログラムは歴史的な大変革の時期に入りました。FVPがそれであり、R Iやロータリー財団のプログラムを着実に実践して行きながら、ロータリーの公共イメージの向上を図ることも考えなくてはなりません。私たちには多くの課題が与えられておりますが、地区委員会の皆様と力を合わせてクリアして参りたいと考えております。皆様のご活躍を心から念願致しております。

# ガバナー指名委員会

定 憲 附 則

委員長 高島 凱 夫（大阪中之島）  
委員 横山 守 雄（大阪中央）  
大谷 透（大阪西南）  
松本新太郎（八尾）  
岡部 泰 鑑（大阪城南）

## ○活動方針

本委員会は、ガバナーノミニー選出に関するR I 細則に則り、2016 - 2017 年度R I 第 2660 地区ガバナー候補者を選出すべく活動を行います。

## 意義ある業績賞委員会

委員長 高島 凱夫 (大阪中之島)

委員 松本新太郎 (八尾)

岡部 泰鑑 (大阪城南)

### ○活動方針

R I 意義ある業績賞の目的は、地域社会の問題やニーズに取り組んだクラブの奉仕活動を表彰することによって、新しいプロジェクト（奉仕活動）の実施をすべてのクラブに周知、奨励し、クラブの模範的な奉仕活動の重要性に対する意識を高めることです。

当委員会におきましては、以下の様なロータリー章典に記載された選考基準に則り、地区内全クラブの中から1クラブのプロジェクト（奉仕活動）を推薦致します。

本賞の受賞資格を有するのは、1つのクラブにより遂行された1件のクラブ・プロジェクトのみです。また、推薦できるのは、1地区につき1つのクラブのみです。既に意義ある業績賞を受賞したことのあるプロジェクトは、資格がありません。

- ・地元地域社会の深刻な問題やニーズに取り組むものである（いかに意義あるものであっても、国際奉仕プロジェクトは本賞の受賞資格がありません）。
- ・単なる金銭的奉仕ではなく、クラブ会員の大半または全員が、直接参加しているものである。
- ・クラブの規模、および利用可能な資源に釣り合ったものである。
- ・地域社会におけるロータリーのイメージを向上させるものである。
- ・他のロータリー・クラブの模範となりうるものである。
- ・現在実施中、もしくは本賞が授与されるロータリー年度中に完了するものである（ただし、現ロータリー年度に開始されたものである必要はありません）。

# 地区研修委員会

リーダー	井上 暎 夫 ( 千 里 )
サブリーダー	若 林 紀 男 ( 大 阪 東 )
	岩 田 宙 造 ( 大 阪 南 )
	大 谷 透 ( 大 阪 西 南 )
委 員	泉 博 朗 ( 大 阪 帝 塚 山 )
	岩 津 陽 介 ( 大 阪 御 堂 筋 本 町 )
	鈴 木 洋 ( 八 尾 東 )
	岡 田 耕 治 ( 東 大 阪 東 )
	五 味 千 秋 ( 大 阪 心 斎 橋 )
	磯 田 郁 子 ( 大 阪 東 淀 ち や ま ち )
	木 村 芳 樹 ( 大 阪 南 )
	畑 田 耕 一 ( 豊 中 )

## ○活動方針

R I 戦略計画、R I および地区方針を踏まえ、ロータリーの基本がクラブにあることを前提に、クラブの活性化を実現するために

- ・ 地区内クラブがより活力ある活動を実現できるよう支援する。
- ・ 地区行事および各地区委員会活動が円滑に、より効果的に行えるように助言する。

## ○活動計画

- ・ クラブ研修活動の在り方の検討
- ・ クラブ研修活動に資するための知見、情報の提供
- ・ クラブ研修活動のためのツールの提供
- ・ 全ての地区委員会の活動が、クラブの活性化に役立つよう連携、調整の役割を担う
- ・ R I 定款、R I 細則、標準クラブ定款の変更に伴い「ロータリーの心と実践」の改訂を行う（当分、地区ホームページ上での改訂を予定し、改訂版の発刊は未定）

# クラブ奉仕部門

## クラブ奉仕・拡大増強委員会

委員長	吉村 昭 (大阪平野)
副委員長	福田 忠博 (大阪中之島)
	齊城 正之 (豊中大阪国際空港)
委員	榎本 桂子 (寝屋川)
	中平 公士 (大阪東)
	松崎 達郎 (大阪東南)
	東村 高良 (大阪うつぼ)
	中島 武 (大阪みおつくし)
	新居 誠一郎 (大阪南)
	峠本 敏夫 (交野)

### ○活動方針

- ・前年度のスローガン「プロジェクト3900」「本腰を入れよう」を引継ぎ、会員増強拡大・会員維持の支援を行います。
- ・“SAKUJI”作戦を推進していきます。

### ○活動計画

クラブ奉仕拡大増強委員会では、おひとりでも素晴らしいロータリーメンバーが増えるよう次の計画を行って参ります。

- ・会員拡大増強セミナーを2013年6月1日に行い、第3ゾーンロータリー・コーディネーター井上パスト・ガバナーに「会員増強とクラブの活性化」のテーマでご講演いただきました。また、事前に各クラブの会長エレクト宛てにアンケート調査をした結果を基に「会員増強・退会防止に結びつけるには」でバズセッションを行いました。
- ・8月の会員増強月刊に向け、セミナー結果をまとめ各クラブにフィードバックし支援して行きます。
- ・SAKUJI作戦を各クラブにお願いして行きます。
- ・広報委員会と協力し、CM・HPを充実させロータリークラブの知名度を高めます。

## 広報委員会

委員長	岡村 剛行 (大阪東)
副委員長	平野 誠治 (大阪西北)
委員	梅原 一樹 (大阪中之島)
	片山 一步 (大阪帝塚山)
	松任 保勇 (大阪中之島)
	林 邦彦 (大阪西)
	石田 秀 (大阪西南)
	上場 俊哉 (高槻東)
	小森 敏鑑 (大阪南西)

### ○活動方針

「感動の体験を!! 人々にも、自身にも」という地区方針に基づき、各クラブの広報活動がより活発になるようサポートに努めて参ります。「広報活動」は、今年度の地区の5つの目標の1つでもあり、R Iの重点事項「公共イメージと認知度の向上」に関わるものです。ロータリーの世界の素晴らしさを、外部の皆様知って頂くための啓蒙活動にも努めてまいります。

### ○活動計画

1. 各クラブの奉仕活動の紹介
  - ①第2660地区ホームページを大幅改訂して、各クラブの奉仕活動をアップしやすくし、対外広報を活発化してまいります。
  - ②「ロータリーの友」地区代表委員と連携して、各クラブの奉仕活動の投稿を促進してまいります。
2. クラブ広報委員長会議  
年2回実施予定。各クラブの広報体制についての検討。意見募集。  
(第1回：2013年7月6日、第2回：2013年1月18日)
3. マスメディアを通じた広報
  - ①ラジオ大阪でのラジオ番組による広報  
ラジオ大阪で、第2660地区のラジオ番組を、2014年3月頃から、10回程度にわたり放送して、第2660地区の活動や各クラブの活動を対外的にアピールします。
  - ②テレビ大阪でのテレビCMによる広報  
テレビ大阪で、第2660地区のテレビCMを、2013年10月のポリオデイあたりで30回程度にわたり放送して、ロータリーの活動をPRいたします。
4. R Iの2013-14年度優先公共イメージ (P I) 補助金申請  
上記のテレビCMでの広報活動に対する補助金を申請しております。



# 職業奉仕部門

## 職業奉仕委員会

委員長	岡本雄介（大阪大手前）
副委員長	庄野晋吉（大阪）
	北川忠嗣（東大阪東）
	木越正司（大阪西）
委員	堀田修平（枚方）
	黒松克行（大阪城東）
	國田欣吾（くずは）
	朝倉通憲（高槻）
	鈴木公平（大阪心斎橋）
	田中徳彦（大阪西南）
	河合秀行（大阪西北）

### ○活動方針

RIの方針は「ロータリーを実践し、みんなに豊かな人生を」です。また地区方針は「感動の体験を!! 人々にも、自身にも」「参加し敢行しよう」です。今年度は各クラブの事業を計画・検討だけに終わらせず、実際に実践しその中で人々に感動を与え、また自分たちロータリアンも感動する、そのような活動にしていきたいと思えます。

今までは第一段階として地区職業奉仕委員会の場において「各クラブにおける事業の体験、実例」などを聞いていただく立場でおられた各クラブの委員長の皆様方に、次の段階として、とにかく行動し実践にうつしていただくことが今年度の目標です。職業奉仕の考え方を机上で勉強するのではなく、皆様のクラブでそれぞれの職業を活かして実際に実践する事業の中で感動を味わっていただくことにより、職業奉仕の理念を肌で感じていただくことができるのではないかと思います。

地区職業奉仕委員会ではその一助となるべく、過去実施された、または継続している事業の情報等を取りまとめ配信し、各委員長のお手伝いをさせていただきます。また職業奉仕月間では各クラブの職業奉仕委員長ご自身で卓話・フォーラムをやっていただけるようにわかりやすい資料等準備いたします。

今年度地区職業奉仕委員会は色々な面から各クラブの職業奉仕委員長のお手伝いをさせていただき、各クラブの職業奉仕委員会の活性化、そしてクラブの活性化につながることを祈念いたします。

### ○活動計画

- ① 出前授業、職場体験学習事業を推し進める。
- ② 地区職業奉仕委員会として、各クラブの職場体験学習、出前授業等の内容を取りまとめ、新たにそれらの事業を始めようとしているクラブに配信し、その参考資料としていただく。
- ③ 職業奉仕フォーラム、卓話を各クラブ職業奉仕委員長自身でお願いします。希望があれば、卓話資料、データなどを地区職業奉仕委員会で作成し提供する。
- ④ 各クラブの職業奉仕委員会事業のアンケート調査の実施。
- ⑤ 地区職業奉仕委員会と各クラブとの関係を密にし、情報交換する。要望があればMUに伺い、担当の職業奉仕委員会メンバーと意見交換する。
- ⑥ 年2回の地区職業奉仕委員長会議の実施。第2回目は新旧の委員長にご参加いただく。
- ⑦ 年6～8回必要に応じて地区職業奉仕委員会の実施。

# 社会奉仕部門

## 社会奉仕委員会

委員長	西宮 富夫 (箕面)
副委員長	脇 隆俊 (大阪御堂筋本町)
委員	滝川 博嗣 (門真)
	佐藤 剛司 (摂津)
	寺内 清視 (大阪天満橋)
	中嶋 英貴 (大阪鶴見)
	竹田 伸 (大阪難波)
	初木 賢司 (くずは)
	小林 知義 (大阪エバーサルスティ)
	中山 正隆 (大阪リバーサイド)
	奥谷 英夫 (千里)

### ○活動方針

RI戦略計画に「人道的奉仕の重点化と増加」と「ロータリーの公共イメージと認知度の向上」という2つの項目がありますが、これら2つは社会奉仕に係る側面があり、注意していきたいと思います。しかし、広報委員会や職業奉仕委員会、国際奉仕委員会にも係る側面もありますので、他の委員会の動向にも注意していく必要があります。

また、本年度の第2660地区のテーマは「感動の体験を！人々にも自身にも」となっています。人々に感動を生む社会奉仕が実施できれば、ロータリーの公共イメージと認知度の向上にも役立ち、一石三鳥となりますが、これは簡単ではないと思われます。

というのは、ロータリーの拡大期では世界中で社会奉仕が活発だったと思います。決議23-34(社会奉仕に関する1923年の声明)では“ロータリーは、市民全体の支持なくしては成功しえないような広範囲の社会奉仕活動は他に地域社会全体のために発言し、行動する適切な市民団体などの存在しない土地の場合に限り、行うこととすべきである。”とされています。ロータリーが多大な力を発揮する機会が多かった時期には、こうしたガイドラインが必要だったのだらうと思います。

しかし、現在では、先進国では社会奉仕は感動してもらいにくくなっていると多くの会員が感じておられると思います。例えば頻繁にマスコミに出てくる、薬物乱用、いじめ、体罰、DVなどの人道的奉仕プロジェクトの必要が強いかもしれませんが、効果が測定できないプロジェクトにならざるを得ません。そのため、ロータリアンの自己満足にならざるを得ない面があるのです。そういう点から先進国での社会奉仕は難しくなっていると考えざるを得ません。

ところが、第2660地区の地区補助金は効果が測定できないプロジェクトにも使うことができます。規模が小さく効果が測定できない先進国の難しい社会奉仕プロジェクトにはむしろ地区補助金を使いやすくなっているのです。

これに元気をもらって、各クラブにおかれましては地区補助金を使って一石三鳥の社会奉仕を目指していただきたいと考える次第です。

また、当委員会としましても水環境という新しいテーマに取り組んでいきたいと考えています。

○活動計画

■情報提供と研修

- ・年2回を目標に、クラブ社会奉仕委員長会議の開催

■日本赤十字、国土交通省、大阪府との連携

- ・献血活動への協力（日本赤十字血液センター）
- ・水環境：大阪湾再生への協力（国土交通省近畿地方整備局）
- ・薬物乱用防止活動への協力（大阪府健康福祉部）
- ・全国交通安全運動への参加（大阪府交通安全対策協議会）

■震災復興支援

- ・「東北でメイクアップをしよう」キャンペーン継続（3年目）

# 青少年奉仕部門

## 新世代合同委員長会議

議 長	岡 部 泰 鑑 (大阪城南)
委 員	西 谷 雅 之 (大阪城南)
	田 邊 司 郎 (寝屋川)
	梅 崎 道 夫 (大阪城南)
	辻 村 和 弘 (大阪大手前)
	西 本 健 二 (吹田江坂)
	久 保 義 誓 (茨木)
	松 井 隆 雄 (大阪天王寺)

### ○活動方針

従来の四大奉仕部門に新世代奉仕部門が加えられ、国際ロータリーが五大奉仕部門を展開して本年3年目を迎えます。

ロータリーが設けている青少年育成のためのプログラムはそれぞれ素晴らしい成果をあげています。この結果はまずもってプログラムが安全な環境のもとに、各活動が情報と連携が大変よくとれているからだと思います。年2回、会議を開催しさらなる各活動・委員会の理解と連携を深めていきたいと思ひます。

## 青少年活動委員会

委員長	西本健二（吹田江坂）
副委員長	井上善博（東大阪みどり）
	庄司修二（箕面）
委員	松本晴充（大阪中央）
	松井研次（大阪東南）
	古山柄博（千里メイプル）
	石川益三（大阪難波）
	石田夏彦（豊中千里）
	池田文治（大東中央）
	高橋一雅（大阪北）
	植田昌克（大阪北）
	石井正人（大阪フレンド）
	西崎哲弘（大阪城北）
	瓦谷勝（大阪西南）

### ○活動方針

夏に実施する「少女少女ニコニコキャンプ」、秋に実施する「上級ライラ」、春に実施する「初級RYLA」本年度当委員会は以上の3つのプログラムを主たる事業といたしまして、ホストクラブや地区内各クラブ、地区内ローターアクターやその他新世代プログラムに参加する若者達、更には地区新世代部門各委員会と連携を図りながら運営していく所存です。すべてのプログラムは「青少年の健全育成」「ロータリー活動の広報」「新世代の研修」を共通目的といたしますが、RYLAにおいてはリーダーシップを身に付けるための研修内容の充実を、少女少女ニコニコキャンプにおいては、小学校4年生から6年生が参加対象となりますので、特に安全で楽しいキャンプを心掛けます。

またこれらのプログラムの企画運営を担う「チームRYLA」の育成発展を本年度も引き続き目指し、未来を担う若者たちのリーダーシップ育成の機会を設けます。

諸先輩のご尽力で地区新世代部門の各プログラムは着実に成果を上げておりますが、これを広く地区内各クラブに認識していただけるよう、積極的な情報発信も心掛けていきたいと思っております。

## ローターアクト委員会

委員長	久保義誓（茨木）
副委員長	山本和良（大阪南）
	丸尾照二（大阪御堂筋本町）
委員	前田要之助（大阪東淀ちやまち）
	松尾治（東大阪西）
	栗村卓家（大阪西）
	柳田雅範（東大阪）
	末松大幸（大阪淀川）
	長澤利治（茨木）
	田中実（大阪北）
	井上智裕（守口）
	山本博之（大阪東）
直前委員長	池田佳弘（茨木）

### ○活動方針

「新世代奉仕」はR Iの重要なテーマとして位置づけられております。その意義をローターアクトの活動を通じて広くロータリアンに理解していただくことに努めます。

まず、会員の増強を計ることが重要課題であり各ロータリークラブとローターアクトクラブが連携を密にすることが大切であると思います。

また、新世代奉仕部門に属する他の委員会との交流を深め、ともに奉仕活動に取り組むことが奉仕活動をより一層理解を深められると思われます。

各ローターアクトクラブ、ローターアクターが円滑に様々なプロジェクトを実施できるよう、我々委員会はサポートし、効果的で効率のいい運営を目指します。

### ○活動計画

- 1) 会員増強（サポートシステムの活用）
- 2) ローターアクト諸事業の効率化
- 3) 提唱ロータリークラブ及び未提唱ロータリークラブとの情報交換
- 4) 新世代奉仕部門内の交流

## インターアクト委員会

委員長	松井隆雄 (大阪天王寺)
副委員長	東村正剛 (大東)
委員	足立菅治 (大阪帝塚山)
	鮫島武信 (大阪南)
	西秀樹 (八尾)
	中野秀一 (大東)
	小泉祐助 (大阪)
	水取孝司 (大阪天王寺)

### ○活動方針

インターアクトクラブに入会し、活動して貰うためにも、出来る限り多くのインターアクトクラブの結成が望まれます。現在、当地区でインターアクトクラブを提唱しているロータリークラブは6クラブしかありません。インターアクトの活動に参加し、感動の体験をしているロータリアンも極僅かです。本年度地区の方針に沿って「参加し、敢行しよう」ではありませんか。

#### 目標

- ①建設的な指導力を養成し、自己の完成を図るためにも、各事業の企画立案と実施に各校生徒の自発的、主体的な参加を促します。  
これは前年度の方針を引継ぎ、ロータリアンと各校顧問との合同会議にインターアクターに参加して貰い積極的に意見を述べてもらいます。
- ②新世代奉仕部門の他の委員会である青少年交換委員会、青少年活動委員会、ローターアクト委員会とは昨年新世代合同委員長会議がもたれワークショップを通じ横の連携ができつつありさらに緊密にしインターアクターとローターアクター、青少年交換学生、ローテックスとの交流やライラ、ニコニコキャンプへの参加等を通じて他人に対する思いやりと、他人の力になる心構え育成し、実践することを目標にします。
- ③現在インターアクトクラブのある6中学校・高等学校と6提唱ロータリークラブとの情報交換やさらに全国インターアクト研究会との情報交換や研究会での勉強会への参加を促進します。
- ④新クラブ創立については現在、守口イブニングロータリークラブでのインターアクトクラブの創立に向け鋭意努力して頂いています。

### ○活動計画

海外研修：海外インターアクターとの交流を図る中で国際理解と親善を深め、国際的視野を持つリーダーの育成に寄与します。今年は8月4日～8日までタイ国（バンコク）第3350地区を訪問予定。現地のインターアクトと共に奉仕活動として施設の訪問や交流会を予定しています。

ホスト：清風学園IAC（提唱クラブ：大阪南RC）

クラブ合同会議：地区委員及び各校顧問並びにインターアクター代表と共に活動方針の確認や活動計画、概況状況の報告を行い、情報交換を行います。（随時開催予定）

年次大会：地区及び各校インターアクトクラブの活動報告を行い、奉仕の精神と活動意義の再確認を行います。本年は11月23日（土・祝日）四天王寺高等学校で行う予定です。

ホスト四天王寺高等学校・中学校IAC（提唱クラブ：大阪天王寺RC）

SCRUM発行：1年間の活動をまとめた活動誌「SCRUM」を編集・発行します。

担当校：相愛高等学校・中学校IAC（提唱クラブ：大阪RC）

新入生歓迎会：各校のICA、顧問の先生、提唱RCのメンバーが集い、新入生と共に親睦交流を深め、奉仕の精神と活動への動機づけを目標に行います。（2014年6月予定）

担当校：四天王寺高等学校・中学校IAC（提唱クラブ：大阪天王寺RC）

## 青少年交換委員会

委員長	辻村和弘 (大阪大手前)
副委員長	山本喬一 (大阪天満橋)
	磯田郁子 (大阪東淀川)
委員	角谷真枝 (茨木西)
	稲邑清也 (千里)
	河畑誠治 (東大阪)
	松岡一郎 (大阪)
	中田有紀 (茨木東)
	井村周平 (大阪心斎橋)
	太田敏一 (大阪西南)
	西邨智雄 (香里園)

### ○活動方針

ロータリー青少年交換は、15～19歳の青少年の為のプログラムです。参加する学生は最高1年間の長期交換、もしくは数週間の短期交換に参加できます。親元を離れ、外国ではホストファミリーと一緒に暮らし、異なった文化や生活様式を体験することによって、お互いが持つ様々な違いによって生ずる問題を解決することも学びます。

学生達にとっては厳しい環境になりますが、好意に溢れたロータリアンの庇護のもとで切磋琢磨し平和を築く国際人となるべく素晴らしい成長をしていきます。プログラムを無事終了し帰国するまで、安全確保と楽しい生活環境を提供できるよう、今まで同様、研修会の開催と危機管理に配慮してまいります。このプログラムの素晴らしいところは学生だけではなく、参加した総ての人々がロータリーの目標である世界平和と繁栄に貢献できる国際人として成長できる機会を与えてくれます。このプログラムをより多くのクラブに広報し理解して頂くことで、一人でも多くの交換を行うと共に、近年減少している受入れホストファミリーの拡大にも力をいれて取り組んでいきます。

### ○活動計画

#### 1、青少年交換計画

長期派遣 (1年間) . . . 5名	短期派遣 (夏休み) . . . 1名
長期受入 (1年間) . . . 5名	短期受入 (夏休み) . . . 1名
長期交換相手国 : アメリカ (3名) ・ カナダ (1名) ・ フランス (1名)	
短期交換相手国 : アメリカ (1名)	



## 2、研修会の実施

派遣候補生：派遣に向けての不安を取り除く為の語学研修と、ロータリーがプログラムに期待する目的についてのオリエンテーションを行う。（年9回机上でのオリエンテーションと、来日生・ローテックスとの合同での屋外でのオリエンテーション数回）

来日学生：早く日本での生活に慣れるよう、第2640・2680地区と合同で日本文化体験研修旅行（9月予定・1泊）

日本についての理解を深める為、首都東京について学んでもらう東京研修旅行（3月予定・2泊3日）

第2640・2680地区合同で世界平和について学んでもらう広島研修旅行（5月予定・2泊3日）

他、日本についての理解を深めてもらう研修多数。

## 3、危機管理

プログラム実施期間中のあらゆる事態にも対応できるよう、安全な生活環境確保の為、危機管理に対する配慮を徹底しています。

## 4、ホストファミリーの確保

このプログラムを遂行していく上で欠かせないのホストファミリーです。近年ロータリアンの減少及び高齢化により、受入れホストファミリーが減少しており委員会では5年前よりホストファミリーバンクを作り登録者を募っております。所属クラブに関係なく、個人としても登録できますので多数の登録お願い致します。

## 5、ローテックス活動の支援

交換プログラムを終了して帰国した学生は、ローテックスとしての活動を行います。派遣候補生には自分達の経験を生かし不安を取り除き、向こうでの生活のアドバイスを的確にしてくれます。来日生にも経験からの助言や相談相手にもなっており、ロータリアンには相談しにくいメンタル的な部分のケアに大きな成果をあげてくれています。また、歓送迎会・クリスマス会・スピーチコンテストなどメンバー全員がリーダーシップを取って企画、実行してくれ、これこそがロータリーが求めている世界平和の礎となる新世代国際人の育成に繋がっていると考え、今後もローテックス活動への支援を行っていきたいと思います。

# 国際奉仕部門

## 国際奉仕委員会

委員長	栗原 大 (大阪フレンド)
副委員長	糸川千恵子 (大東中央)
	安井一男 (新大阪)
委員	小林 哲 (吹田西)
	辻 正次 (豊中)
	大竹洋一郎 (門真)
	白方誠彌 (大阪淀川)
	木田昌宏 (吹田西)
	岩上高幸 (茨木西)
	嶽下勇治 (大阪中之島)

### ○活動方針

今年度の国際奉仕は、各クラブの活動に多少困惑する年度になりそうです。

まず、旧WCS・旧ICS名称が国際奉仕プロジェクトへ、旧WCS基金・旧世界協同奉仕基金が国際奉仕基金と内容は変わらず名称が変更になります。そしてMGに変わる財団補助金がGGとなり人道的奉仕の役割を担う初年度となります。当委員会では今年度の変化に対応し、各クラブには理解し易い内容を情報発信したいと考えております。また現代の変化に対応した国際奉仕プロジェクトの推進及び実例などを各会議にて発表し、国際奉仕の原点をもう一度各クラブに認識して頂くと共に、本年度ガバナー方針「感動の体験を人々にも与え、自らも感動を」を実践できるサポートを当委員会で行いたいと考えます。

最後になりましたが世界大会の参加推進も重要な位置づけとし努めていく所存です。

### ○活動計画

- ・クラブ委員長会議2回…各クラブへの国際奉仕プロジェクトの推進への啓発・活動報告と情報交換
- ・地区主催会合に参加…合同地区委員会、地区研修セミナー・PETS、地区協議会
- ・合同委員会（財団補助金委員会と）2回…情報交換とFVPの勉強会
- ・委員会月例 12回…GGの申請書チェック、地区やガバナーからの情報伝達、海外情報、  
ニュースレター発信
- ・活動アンケート2回…各クラブの活動計画と進行状況、GGの状況。  
予算と計画・中間報告・最終報告
- ・ニュースレター発刊…会長、幹事、国際奉仕委員
- ・国際大会参加推進

# ロータリー財団部門

## 地区財団監査委員会

委員長 岡部 泰鑑（大阪城南）

委員 五味 千秋（大阪心斎橋）

山下 勝弘（東大阪）

## ロータリー財団委員会

委員長 溝畑 正信（東大阪東）

委員 宮里 唯子（茨木西）

今西 敦之（八尾）

木村 芳樹（大阪南）

和氣 主（大阪北梅田）

### ○活動方針

2013年7月1日からロータリー財団の新補助金制度（Future Vision）が全面導入されています。地区ロータリー財団部門の委員会は新しく編成されました。新編成された、補助金小委員会（地区補助金・グローバル補助金担当グループ、奨学金・学友・ロータリー平和フェロシップ担当グループ、職業研修担当グループを含む）、地区財団資金管理小委員会、資金推進小委員会、ポリオ・プラス小委員会とともに、新補助金制度が地区内各クラブに十分理解され、財団の各種プログラムが地区内各クラブの活動に十分活用され、クラブの活性化に繋がるよう支援します。

新しい財団情報は、2013年7月および11月に開催されるロータリー財団地域セミナー、また財団本部からの情報を得て、新制度の定着を図ります。

### ○活動計画

李 東建（D.K.Lee）2013－14年度ロータリー財団管理委員長は財団目標を、

1. ポリオを撲滅し、ポリオのない世界という夢をかたちにする
2. 新しい補助金モデルの導入を成功させ、画期的な未来の夢計画を全世界で実施する
3. より公平で平和な世界を築くため、革新的なプロジェクトと創造的なパートナーシップに参加する
4. 年次基金、恒久基金、ポリオ・プラス基金を支援して、ロータリー財団が自分たちの財団であるという自覚と誇りを築く

としており、この目標達成を目指します。

本年度当委員会は、

1. 前年度までの教育的プログラムの奨学金、研究グループ交換（GSE）、人道的プログラムのマッチング・グラント（MG）、地区補助金（DSG）の終了した後、新編成された財団委員会のもとに、（新）地区補助金とグローバル補助金の各財団プログラムへの配分を決める。
2. 2013年5月に開催されたWHO総会で、ポリオの発生がこれまでの歴史の中で一番少ない状態であることが確認され、2013－2018年ポリオ根絶戦略プランが採択され、私たちは2018年までに世界からポリオを根絶することをあらためて決意した。今ここで根絶に失敗すると永久にポリオ根絶は不可能となると考えられ、引き続きの寄付協力をお願いする。
3. ロータリー平和フェローシップ、グローバル補助金奨学金、新地区補助金奨学金、新地区補助金プロジェクト、職業研修チーム（グローバル補助金プロジェクト）、人道的プログラムのグローバル補助金プロジェクト、新地区補助金プロジェクト、ポリオ・プラスプログラムの計画を推進する。
4. 補助金の資金源はロータリアンの寄付金であり、寄付増進に努める。
5. クラブの参加資格を認定して、クラブが補助金の資金管理、報告に関する体制の手続きを実施する。
6. 地区財団セミナー、クラブ財団委員長会議、補助金管理セミナーを通じて新しく導入された財団未来の夢計画への理解を深め、新補助金モデルに積極的に取り組めるよう支援する。
7. 元財団奨学生のPSCと元GSEメンバーのアルム二会の交流が更に活発化するよう支援し、さらに新学友の積極的な参加を奨励する。そして、新補助金制度に積極的に関わっていただく。
8. 地区ホームページ、ガバナー月信、ニュースレター等を通じて財団情報を提供する。

## 資金推進小委員会

委員長	今西 敦之（八尾）
副委員長	領木 誠一（大阪東）
委員	檜皮 悦子（大阪中之島）
	松下 和彦（八尾中央）

### ○活動方針

近年、国内ロータリークラブでは、会員数の減少が進み、それに伴い、寄付金・奉仕事業の減少縮小にも繋がっております。

2012年12月安倍内閣の誕生にともない、日本国内デフレ脱却を目的に「アベノミクス」という造語が流行っている中、各企業の業績UPに期待を寄せ、2013年7月より導入されます新補助金制度に基づき、財団部門の重要性を各クラブ内に、さらにご理解を賜り、寄付金・募金活動の認識を推進してまいります。

本年度、新制度の中、財団委員会のもと、新設されました資金推進小委員会におきましては、下記項目を活動方針とし取り組んでまいります。

- ・本年度、年次基金1人当たりの目標額150ドル以上達成に向けた取り組み
- ・地区年次基金額目標設定における各クラブへの推進と奨励
- ・恒久基金の各クラブへの理解と、各クラブ内より1名以上のベネファクターの支援
- ・ロータリーカードの普及と推進
- ・財団への貢献クラブ・貢献者の表彰と認証

### ○活動計画

1. PETS地区チーム研修セミナーにおける委員会活動の理解
2. 地区協議会、財団部門にて、各クラブに資金推進小委員会の理解と寄付金の重要性
3. 年次基金の各クラブサポートと、1人当たりの目標達成に向けた支援
4. 地区大会にて、DDFの配分などのパネル展示
5. ロータリーカードの理解と普及
6. 委員会の開催（随時）
7. 会員拡大への協力

## ポリオ・プラス小委員会

委員長	木村 芳樹 (大阪南)
副委員長	杉村 雅之 (大阪中之島)
委員	山片 重房 (東大阪みどり)
	宮本 里恵 (大阪アーバン)

### ○活動方針

世界で、毎年35,000人の子供たちがポリオに感染していた1980年代以来、122カ国で20億人の子供たちが予防接種を受けた結果、ポリオ症例は99%減少し、数百万人が身体麻痺を逃れ、25万人の命を救うことができたといわれています。

ロータリーは1988年以来、世界ポリオ撲滅推進計画(GPEI)で中心的な役割を担ってきました。

ロータリーがこれまで20年以上にわたるポリオ撲滅活動で寄付した資金の総額は12億ドルにあがります。2007年度からはゲイツ財団とも協力して資金確保に努めています。2013年6月には新たにパートナーシップの拡大が発表されました。今後5年間、ロータリーのポリオ撲滅によせる寄付に対し、ゲイツ財団が2倍の額を上乗せするというものです(対象寄付額は各年35,000ドルまで)。これはWHO総会での2013-18年ポリオ根絶戦略プランに基づいたもので2018年にポリオを世界から根絶する決意の表明です。

ポリオ常在国は三カ国になりました、常在国での発症は確実に減少していますが、非常在国のソマリア、ケニアでポリオ発症が確認されています(インポート・カンツリー)。

常在国のポリオ原生ウイルスを撲滅しないとインポートされる可能性はいなめません。

国際ロータリーのロータリー財団ではこのポリオ撲滅を最重点項目にあげています。

「ポリオを撲滅し、ポリオのない世界という夢をかたちにする」

今年度から新設された、地区ロータリー財団ポリオ・プラス小委員会としては、この最終段階に入ったポリオ撲滅活動を成功裏に終わらすために、地区のロータリアンの皆さんに、ポリオについて、ポリオ撲滅活動にはたしたロータリーの役割、そして今後の取り組みについて理解していただき、最後のご協力をお願いいたします。

### ○活動計画

- 地区財団セミナー、クラブ財団委員長会議を通じて各クラブへポリオ情報を発信。
- 地区広報委員会と協力して、地区ホームページでのポリオ情報の発信、テレビ広報での一般へのキャンペーンの実施
- 各クラブでのポリオ関係卓話の実施

## 地区財団資金管理小委員会

委員長 和 氣 主 (大阪北梅田)

委員 片岡利雄 (大阪南)

天野正亮 (東大阪東)

### ○活動方針

当委員会は、各ロータリークラブに財団補助金の慎重かつ適切な管理を徹底していただくよう、ロータリアンに指導いたします。まず、そのためには、MOUを十分に理解していただき、実施していただくことを支援します。そして、各ロータリークラブが、補助金の参加資格を認定されるよう支援いたします。補助金事業を実施するロータリークラブは、補助金事業に関与する全ての人が利害の対立を回避しなければならないことを周知徹底いたします。

新補助金制度は、前年度から計画年度が始まり、既に補助金事業の端緒が開かれ、本年度いよいよ事業が実施されることとなります。そこで、ロータリークラブと地区が提唱する補助金事業について、資金管理の検証と評価を行います。

### ○活動計画

- 1 地区内全ロータリークラブからMOUの提出をして頂くよう支援します。
- 2 補助金管理セミナーの実施を支援します。
- 3 地区の行事において、補助金の参加資格の認定、補助金管理についての理解を深めて頂くよう活動し、支援いたします。
- 4 補助金口座の開設について指導、支援いたします。
- 5 各ロータリークラブに対し、補助金事業の資金管理についてのアンケート調査を行い、補助金管理についてモニタリングを行います。
- 6 補助金管理についての情報を発信いたします。

## 補助金小委員会

委員長 宮里唯子（茨木西）

### ○活動方針

財団補助金手続きの徹底周知をはかると共に、地区要件については、可能な限り簡素化を図り、当地区の特色をふまえたプログラム別予算を検討し、クラブによる補助金活動の活性化を助長する。

また、透明度の高い地区補助金及びDDFの審査を実施し、グローバル補助金については地区内クラブの立案・申請・報告書までの一連の手続きにおいて支援を実施する。

### ○活動計画

#### 地区財団セミナー

ロータリー財団への理解を深める機会を提供すると共に、新補助金モデルの理解を促進する

#### クラブ財団委員長会議

地区補助金・グローバル補助金の立案、申請及び最終報告書までの手続きについて研修を実施する

#### 資格認定プロセス

「財団補助金管理セミナー」において、補助金の効果的な管理と資金の適切な監督の為の知識や情報を提供すると共に、クラブ覚書を回収、保管・管理する

#### 財団合同委員会及び財団補助金小委員会グループ合同委員会

定期開催し、各委員会及びグループ間の財団の最新情報の共有と、財団プログラムの活性を推進する



## 地区補助金・グローバル補助金担当グループ

委員長	四宮孝郎（大阪西南）
委員	山本博史（大阪南）
	大野康裕（大阪北）
	樋口信治（大阪）
	紙谷正行（吹田）
	長屋興（吹田西）
	吉田政雄（茨木）

### ○活動方針

- ・財団補助金制度の変革初年度にあたり、各クラブの新制度への理解を一層促進する。  
（計画・準備年度と実施年度）
- ・補助金申請方法のクラブへの周知徹底を計る。  
（「授与と受諾の条件」「申請手続きハンドブック」に基づく）
- ・申請に基づく審査の公平性と円滑化を計る。

### ○活動計画

- ・下記の会合を通して今年度の補助金を利用した活動の推進と、次年度への準備について研修を実施する。
  - －「地区財団セミナー」（2013年8月31日）
  - －「クラブ財団委員長会議」（2013年11月2日）
- ・「補助金管理セミナー」（2014年2月15日）  
において次年度の補助金申請の為の資格認定を各クラブに得てもらう。
- ・地区国際奉仕委員会・地区社会奉仕委員会等、他の委員会と合同委員会の開催、又はオブザーバー参加。
- ・審査会の適時開催実施。

## 奨学金・学友・R平和フェローシップ担当グループ

委員長	梅崎道夫（大阪城南）
委員	阪上博史（茨木東）
	三好えり子（大阪そねざき）
	寺崎正也（大阪城北）
	吉城直孝（東大阪）
	木下恵美子（大阪イブニング）
	土方慶之（茨木）
	岩橋竜介（東大阪中央）

### ○活動方針

2013 - 2014年からロータリーの新しい補助金制度がスタートします。奨学金制度もこれまでの国際親善奨学生とは様変わりしました。私たち奨学金・学友・平和フェローシップ担当グループでは、第2660地区の新しい補助金制度のルールにしたがって奨学生の募集を行いたいと考えています。

具体的には、グローバル補助金による奨学生と平和フェローシップ奨学生の募集と選考を行います。

国際親善奨学生として留学された奨学生OB/OGの学友会組織であるPSCの活動を継続して支援してゆきたいと考えています。

### ○活動計画

- ・グローバル補助金による奨学生の募集と選考を実施します。
- ・平和フェローシップ奨学生の募集と選考を実施します。
- ・選考に合格した奨学生に対し、オリエンテーションを実施します。
- ・PSCの方々の活動を支援するとともにPSCの方々とロータリアン・米山学友会等との幅広い交流の実現を目指します。

職業研修チーム担当グループ

- |              |     |                |
|--------------|-----|----------------|
| (京都府大) 西谷 委員 | 委員長 | 田邊 司郎 (寝屋川)    |
| (大阪府大) 天谷 委員 | 委員  | 米田 真 (豊中)      |
| (大阪府大) 千原 委員 |     | 松本 浩一 (大阪北)    |
| (京大) 依田 委員   |     | 今西 良介 (大阪南)    |
| (京大) 人真 委員   |     | 川本 典美 (大阪ネクスト) |
| (京大) 花菱 委員   |     | 品川 芳洋 (八尾東)    |
| (京大) 千原 委員   |     | 栗山 博道 (大阪中之島)  |
| (京大) 千原 委員   |     | 三木 元昭 (大阪大手前)  |
| (京大) 山本 委員   |     | 長元 良二 (大阪咲洲)   |
| (京大) 三木 委員   |     | 水島 洋 (千里メイプル)  |

○活動方針

新補助金制度の初年度にあたり、各クラブもロータリアン個人もどうすればよいのか十分に理解しているとは考えにくく、戸惑っているのが現状だと思います。V.T.T.に関しては6月6日時点で補助金申請件数がグローバル、地区を合わせて0件であるのも、そういった所に原因があるものと理解します。従って、当委員会としては、スムーズに補助金申請が行える様、適切な情報を発信することが重要な役割であると認識します。

更にGSE学友(アルム二会)の育成にも努力したいと考えます。

○活動計画

新制度による補助金申請件数とりわけV.T.T.については、極端に少ない事を踏まえて、その原因となっている部分を十分に分析し、その結果から、障害となっている所の理解に努めたいと思います。補助金申請が許可された場合においては、提唱クラブとは十分連携し、GSEで培った職業研修の手法を活用し、場合によっては関連する委員会とも協調、協力し、より実効性のあるプログラムを成し遂げる様、取り組んでいきたいと思ひます。

又、GSE時代からの学友(アルム二会)の活動を全面的に支援すると共に、そのノウハウは受け継ぎ、V.T.T.にも生かしていきたいと思ひます。

日 時	内 容	商 料	(日)期・日
10月17日(日)	...	00:00 - 00:30	7月7日(日)
10月12日(金)	...	00:00 - 00:30	7月12日(金)
10月15日(土)	...	00:00 - 00:30	7月15日(土)
10月8日(日)	...	00:00 - 00:30	7月8日(日)
10月11日(日)	...	00:00 - 00:30	7月11日(日)
10月19日(日)	...	00:00 - 00:30	7月19日(日)
10月25日(日)	...	00:00 - 00:30	7月25日(日)

# 米山奨学部門

## 米山奨学委員会

委員長	西谷雅之(大阪城南)
副委員長	福田治夫(守ロイブニング)
	近藤菜穂子(大阪ネクスト)
委員	吉田悦治(大阪大淀)
	田中真人(大阪北)
	田中隆弥(池田くれは)
	島井宏子(大阪北梅田)
	古城紀雄(千里)
	北山治信(東大阪みどり)
	三木得生(豊中南)
	口野孝(大阪東)
	中川和之(大阪船場)

### ○活動方針

今年度の米山奨学委員会のスローガンは「米山を身近に」です。

昨年度は「米山のファンを増やそう」でしたが、これらは将来各クラブに1人の奨学生をつけたいとの大きな目標からの発想です。

まず、今年度は普通寄付5千円+特別寄付2万5千円で合計3万円の寄付をお願いいたします。第2660地区のロータリアンの数から算定しますとおひとり4万円の寄付があれば83クラブの全てで奨学生のお世話をさせていただける計算となります。と言って、現在2万円をお願いしています寄付も達成されておられません。いきなり倍の4万円とお願いしても難しいと考えますので今年度はおひとり3万円を目標に設定させていただきました。

2つ目のお願いは奨学生に卓話の時間を与えて頂きたいと言う事です。4月からの新規奨学生のお世話をされないクラブはもちろん、お世話いただきますクラブでも、お世話されている奨学生ではなく、他クラブに居る奨学生を招いて是非卓話の時間を与えてやって下さい。

3つ目は学友会の活用です。米山奨学生は終了しましたが、日本で就職した者、さらに進学しまだ大阪に居る者がロータリーの為に何かできないかと集まったのが学友会です。皆さんのクラブの奉仕活動や、姉妹クラブとの通訳など彼らに出来る事は沢山あります。もちろん其々仕事なり学業なりを抱えておりますので、御希望に添えるかどうかは判りません。しかし、一度声をかけてやっていただけないでしょうか？

以下に活動予定表を載せておきますので是非ご参加いただきます様お願いいたします。

### ○活動計画

月・日(曜日)	時間	場所	行事名
7月7日(日)	15:30～18:30	国際交流センター	学友会総会
7月12日(金)	15:00～17:00	ガバナー事務所	大学との意見交換会
7月27日(土)	14:00～16:00	OMMビル会議室	クラブ米山委員長 カウンセラー研修会
10月6日(日)	10:00～18:00	宝塚劇場	リクレーション(宝塚歌劇)
11月2日(土)	14:00～17:00	OMMビル会議室	米山ふれあいスピーチコンテスト
1月19日(日)	9:30～15:00	大阪日本語教育センター	2014年度採用面接試験
3月2日(日)	17:00～19:30	ハイアットリージェンシー大阪	米山奨学生終了生歓送会

# 災害支援プロジェクト委員会

委員長	高島 凱夫 (大阪中之島)
副委員長	泉 博朗 (大阪帝塚山)
	宮里 唯子 (茨木西)
委員	溝畑 正信 (東大阪東)
	川上 大雄 (榎エーバーシティ)
	初木 賢司 (くずは)
	丹羽 健二 (大阪西南)
	渡邊 邦雄 (大阪城南)
	村橋 義晃 (大阪中之島)
	小林 和由 (大阪咲洲)

## ○活動方針

昨今、国内外でさまざまな災害が発生しています。これらのことを鑑み、当委員会では、東日本大震災への支援を継続しながら、万一他の災害が発生した場合の処し方を検討する必要があると思われ

- ・東日本大震災並びに国内外での災害に対する支援金の募集（地区災害支援基金）及びその運用を検討。
- ・東日本大震災並びに他の災害での現地のニーズを把握、それを地区内各クラブに周知し支援参加クラブを募る（地区災害支援基金使用を決定）。
- ・各クラブが独自に行なっている災害支援へのサポート。
- ・ガバナー月信を通じて、各クラブ会員に各種情報及び報告を周知。
- ・各クラブ内にいわゆる「災害支援基金」の創設を推奨する。

## 危機管理委員会

委員長	岡部 泰 鑑 (大阪城南)
副委員長	泉 博 朗 (大阪帝塚山)
委 員	西 本 健 二 (吹田江坂)
	久 保 義 誓 (茨 木 )
	松 井 隆 雄 (大阪天王寺)
	辻 村 和 弘 (大阪大手前)
	西 谷 雅 之 (大阪城南)
	梅 崎 道 夫 (大阪城南)
	田 邊 司 郎 (寝屋川)
	岡 村 剛 行 (大阪東)
	小 林 正 啓 (大阪城南)
	松 井 圭 子 (大阪アーバン)
	菅 沼 清 高

### ○活動方針

★ 当委員会の目的は新世代奉仕部門（米山も含む）活動のすべてを安全、遂行するため新世代奉仕部門委員長会議のメンバーが主な構成委員とり、同会議の議長が委員長を務め、副委員長にガバナーエレクトの泉 博朗（大阪帝塚山RC）、追加の委員として法律面の専門として小林正啓（大阪城南RC）、松井圭子（大阪アーバンRC）、更に部外からの構成委員も示唆されているので、昨年に続き元警察官房長官の菅沼清高氏にも加わってもらい、計13名が委員会の構成メンバーとなり、不測の事態に対処する態勢を整えています。

# 地区大会実行委員会

委員長 吉村 清明（八尾中央）  
副委員長 玉井 利宏（八尾中央）  
吉本 憲司（八尾）  
笠井 靖彦（大阪柏原）  
幹 事 山本与志弥（八尾中央）

## ○活動方針

2013 - 2014年度地区大会は2014年2月21日(金)・22日(土)の2日間開催します。  
R Iテーマ「ロータリーを实践し みんなに豊かな人生を」、そして地区方針「感動の体験を!! 人々にも自身にも」に基づきまして、「明るい日本の未来に向かって」を地区大会のテーマとして準備を進めて参ります。

ロータリーの精神「親睦と奉仕」を实践することの楽しさと感動を多くのロータリアン、新世代の若者と共に体験し、共有し、更に素晴らしい日本の歴史と文化、技術を通じた奉仕を世界に示すことで日本の未来に新たな存在感が生まれ、ロータリーに夢と希望の持てる交流と会話の場としての地区大会になりますことを願っております。

多くのご参加、心よりお待ちしております。

## ○活動計画

第一日目 2014年2月21日(金) 大阪国際会議場5階 メインホール

13:00～13:45 登録・受付

13:45～15:00 「開会式」 大阪国際会議場5階 メインホール

15:10～17:00 「合同研修会」 大阪国際会議場5階 メインホール

1部: 「ロータリアンの奉仕とは何か」  
第3ゾーン、ロータリー・コーディネーター PG井上暎夫氏

2部: 「奉仕の現場からの報告」

①〔カンボジアでの奉仕〕 元国際親善奨学生 西口三千恵氏  
②〔被災地支援〕 元国際親善奨学生 倉内菜穂子氏

15:00～16:45 「家族の集い」 リーガロイヤルホテル 2階 ペリドットの間  
観世流能楽師 山本章弘氏、 講談師 旭堂南陽氏

17:45～20:30 「R I会長代理ご夫妻歓迎晩餐会」 リーガロイヤルホテル 光琳の間

第二日目 2014年2月22日(土) 大阪国際会議場5階 メインホール

13:00～15:50 「本会議」

16:00～17:20 「特別講演」 ジャーナリスト、国際基本問題研究所理事長 桜井よしこ氏

地区大会の二日間、大阪国際会議場5階ホワイエにて「友愛の広場」を設営しお飲み物をご用意いたしております。

# ロータリーの友

地区代表委員 鈴木 洋（八尾東）

## ○活動方針

地区内ロータリークラブの活動状況や情報及び意見を収集し、「友」に関する福家ガバナーの代理者として「ロータリーの友委員会」において、ガバナーの意向を踏まえた提言を行います。「友」を多くの会員が購読下さるよう奨励します。

## ○活動計画

1. クラブ広報委員長会議に出席し、「友」への理解を深めていただき、読書率向上と活用促進を呼びかけます。
2. 地区広報委員会のご協力をいただき、地区内クラブに向けて「友」に関するアンケートを実施し、その結果を編集に役立つよう提言します。
3. 「友」への投稿を奨励します。
4. 「ガバナー月信」を通じて「友」に関する情報を発信します。
5. 「ロータリーの友委員会」に出席し、会員各位の意見を提言し、情報を持ち帰り報告します。



# 地区財務委員会

委員長 片岡基博（八尾中央）

委員 嶽下勇治（大阪中之島）

小島康秀（大阪帝塚山）

会計 松下和彦（八尾中央）

## ○活動方針（予算編成方針）

### 1. 地区会計の内容

地区会計は、以下のとおり一般会計・特別会計・地区基金・地区大会会計・地区協議会会計に大別されます。

- (1) 一般会計
  - ① 地区運営資金
  - ② 地区活動資金
- (2) 特別会計
  - ① 地区大会資金
  - ② 米山奨学生活動費
  - ③ 国際奉仕基金
  - ④ R I 規定審議会派遣積立金
  - ⑤ ロータリー研究会準備基金
  - ⑥ 危機管理積立金
- (3) 地区基金
- (4) 地区大会会計
- (5) 地区協議会会計

(1) 一般会計は、「地区運営資金」と「地区活動資金」から構成されます。「地区運営資金」は、地区主催の各種会合費やガバナー事務所諸経費・ガバナー月信発行費等が主たる資金使途となります。「地区活動資金」は、主として地区に属する各種委員会の活動費です。

(2) 特別会計は、一般会計から独立した部門として管理されております。

(3) 地区基金は、昨年500万円積み増しされ、2000万円が繰り越される予定であります。

(4) 地区大会会計及び(5) 地区協議会会計は、これまで同様、独立した会計部門として管理し、最終的にそれぞれ監査を受けるものとします。

### 2. 基本方針

- (1) 会員一人あたりの負担額は変更しません。
- (2) 「地区運営資金」と「地区活動資金」への地区資金配分の割合を変更します。
- (3) 「地区活動資金」については、前年に引き続き緊縮予算を踏襲します。

### 3. 予算編成

- ・「地区運営資金」は、これまでの決算実績を参考に、できる限り増額を抑える方向で、検討いたしました。今年度当初に事務局長交代・事務職員の退職採用があり、引き継ぎの為重複期間を見込んでおります。他は従来通り経費削減努め、緊縮財政といたします。
  - ・「地区活動資金」は、次年度地区委員長から、次年度の事業予定と希望予算額をご提示頂き、それらに対するヒアリングと意見交換、過年度の支出実績等も勘案し、できる限りの緊縮予算への協力を頂いて決定しました。
  - ・会員数は、過年度の推移を見ながら、2013年7月1日における2660地区会員総数を3,600名と厳しく推定しました。
  - ・会員一人あたりの負担額は、前年に引き続き22,000円とします。
  - ・22,000円の配分は以下のとおりとします。
    - ①地区運営資金 @ 10,000円 × 3,600名 = 3,600万円
    - ②地区活動資金 @ 7,000円 × 3,600名 = 2,520万円
    - ③地区大会資金 @ 5,000円 × 3,600名 = 1,800万円

\*地区大会については別途登録料のご負担をお願いする予定です。
  - ・会議費については、P E T・チーム研修セミナー・地区合同委員会・財団セミナーなどの会場費・資料作成費用であります。
  - ・クラブ奉仕部門については、広報委員会よりロータリー活動を広く一般にも理解いただき、増強にも繋げたいと、広告媒体をJ R・産経新聞を中止し、ホームページの充実・テレビCMの導入を図るものとします。不足分についてはR I会長D G協調事業費から応援するものとします。  
ローターアクト委員会行事参加の個人負担が増加への応援として30万円増額いたしました。
  - ・ロータリー財団部門については、委員会構成が変わり名称の変わりましたので、各委員会からの要望額を積み上げました結果、部門として137万円の減となりました。
  - ・危機管理積立金、地区基金については、今期は一定の額が積み立てられたものとして、積み増しは計画いたしておりません（資金が使用目的が固定化されるため）が結果を見て積み増しも検討するものといたします。
  - ・R I規定審議会積立金ではありますが、次年度は派遣事業がありませんので支出はございませんが、積立金として40万円計上いたします。
- 以上の方針に基づき、地区会計の予算執行の進捗状況を適宜監視し、健全性及び透明性の実現に努めてまいります。



2013-2014年度 国際ロータリー第2660地区  
**地区資金・特別会計・地区基金会計予算**

■ **地区運営資金**

【収入の部】 (単位:円)

科 目	12-13予算	13-14予算	増 減
1. 地区資金	36,000,000	36,000,000	0
2. RI助成金	2,000,000	1,600,000	△ 400,000
3. 雑収入	600,000	600,000	0
収入合計	38,600,000	38,200,000	△ 400,000

【支出の部】 (単位:円)

科 目	12-13予算	13-14予算	増 減
A. 負担金			
1. ガバナー会	800,000	760,000	△ 40,000
2. ローター文庫	1,200,000	1,140,000	△ 60,000
3. 平和奨学生支援協力金	60,000	60,000	0
小 計	2,060,000	1,960,000	△ 100,000
B. 会議費			
1. PETS・チーム研修セミナー	1,500,000	1,500,000	0
2. 地区合同委員会	900,000	850,000	△ 50,000
3. 財団セミナー	600,000	550,000	△ 50,000
4. DPGGGE会議	0	0	0
5. G補佐・地区幹事会	30,000	20,000	△ 10,000
6. GE国際協議会	730,000	730,000	0
7. 予備費	100,000	100,000	0
小 計	3,860,000	3,750,000	△ 110,000
C. ガバナー関係費			
1. ガバナー事務所経費	30,200,000	30,700,000	500,000
2. ガバナー月信	5,300,000	5,300,000	0
3. ガバナー補佐経費	100,000	70,000	△ 30,000
4. 直前DG記念品	100,000	100,000	0
小 計	35,700,000	36,170,000	470,000
D. 地区基金への繰入金	5,000,000	0	△ 5,000,000
E. 総予備費	120,000	120,000	0
支出合計	46,740,000	42,000,000	△ 4,740,000
収支差額	△ 8,140,000	△ 3,800,000	4,340,000
前年度繰越金	25,391,094	17,251,094	13,451,094
次年度繰越金	17,251,094	13,451,094	17,791,094

■ **ガバナー事務所経費**

【収入の部】 (単位:円)

科 目	12-13予算	13-14予算	増 減
1. 家賃・光熱費	4,500,000	4,500,000	0
2. 給料・手当	16,700,000	17,000,000	300,000
3. 厚生費	2,300,000	2,500,000	200,000
4. コンピューター関係費用	1,300,000	1,300,000	0
5. DGGE交通会費	1,000,000	1,000,000	0
6. 印刷費	1,400,000	1,400,000	0
7. 交通通信費	1,500,000	1,500,000	0
8. 文献費	100,000	100,000	0
9. 事務用品費	600,000	600,000	0
10. 什器備品費	200,000	200,000	0
11. 雑費	500,000	500,000	0
12. 予備費	100,000	100,000	0
収入合計	30,200,000	30,700,000	500,000

■ **地区活動資金**

【収入の部】 (単位:円)

科 目	12-13予算	13-14予算	増 減
1. 地区資金	25,200,000	25,200,000	0
収入合計	25,200,000	25,200,000	0

【支出の部】 (単位:円)

科 目	12-13予算	13-14予算	増 減
A. 地区委員会活動費			
1. DG指名(委)	30,000	20,000	△ 10,000
2. 意義ある業績賞(委)	20,000	10,000	△ 10,000
3. クラブ奉仕部門			
クラブ奉仕・拡大増強(委)	480,000	480,000	0
広報(委)	660,000	1,040,000	380,000
4. 職業奉仕部門			
職業奉仕(委)	240,000	240,000	0
5. 社会奉仕部門			
社会奉仕(委)	430,000	400,000	△ 30,000
6. 新世代奉仕部門			
新世代合同委員長会議	30,000	20,000	△ 10,000
青少年活動(委)	4,530,000	4,500,000	△ 30,000
ローターアクト(委)	4,500,000	4,800,000	300,000
インターアクト(委)	1,950,000	1,950,000	0
青少年交換(委)	5,500,000	5,500,000	0
7. 国際奉仕部門			
国際奉仕(委)	310,000	410,000	100,000
8. ローター財団部門 (計)	4,195,000	2,820,000	△ 1,375,000
ローター財団(委)		570,000	
財団地区補助金G補助金(G)		20,000	
職業研修チーム(G)		1,600,000	
財団奨学金・学友(G)		390,000	
資金推進小委員会		30,000	
ポリオプラス小委員会		80,000	
地区財団資金管理小委員会		50,000	
補助金小委員会		80,000	
9. 米山奨学部門			
米山奨学(委)	340,000	400,000	60,000
10. 災害支援プロジェクト	100,000	100,000	0
11. RI規定審議会派遣積立金	400,000	400,000	0
12. RI JYEC維持協力金	400,000	400,000	0
13. 危機管理積立金	9,500,000	0	△ 9,500,000
14. 予備費	1,500,000	1,500,000	0
小 計	35,115,000	27,810,000	△ 7,305,000
B. RI会長DG協調事業費	3,000,000	3,000,000	0
C. IM広報活動補助金	2,400,000	2,400,000	0
D. 研修委員会	1,200,000	1,200,000	0
E. ローター研究会準備基金	0	0	0
支出合計	41,715,000	34,410,000	△ 7,305,000
収支差額	△ 16,515,000	△ 9,210,000	7,305,000
前年度繰越金	31,765,442	15,250,442	△ 16,515,000
次年度繰越金	15,250,442	6,040,442	△ 9,210,000

## ■ 特別会計

### 1. 地区大会資金

(単位:円)

科 目	12-13予算	13-14予算	増 減
前年度繰越金	9,245,981	9,245,981	0
地区資金	18,000,000	18,000,000	0
地区大会会計へ	27,245,981	27,245,981	0
地区大会会計から戻入	9,245,981	9,318,346	72,365
次年度繰越金	9,245,981	9,318,346	72,365

### 2. 米山奨学生生活動費

【収入の部】

(単位:円)

科 目	12-13予算	13-14予算	増 減
(財)米山記念奨学会より	2,700,000	2,700,000	0
選考試験補助金	0	0	0
カウンセラー研修会補助金	0	0	0
ホームカミング補助金	0	0	0
レクリエーション登録料	0	0	0
米山奨学歓送迎会登録料	0	0	0
米山奨学からの補填	0	0	0
地区活動資金からの補填	0	0	0
受取利息	0	0	0
収 入 合 計	2,700,000	2,700,000	0

【支出の部】

(単位:円)

科 目	12-13予算	13-14予算	増 減
カウンセラー研修会	0	0	0
情報交換会	0	0	0
レクリエーション	2,700,000	2,700,000	0
選考会	0	0	0
歓送迎会	0	0	0
オリエンテーション	0	0	0
ホームカミング	0	0	0
米山奨学会学友会支援	0	0	0
米山委員長会議	0	0	0
(財)米山奨学会へ返金	0	0	0
スピーチコンテスト	0	0	0
支 出 合 計	2,700,000	2,700,000	0

## ■ 地区基金

(単位:円)

科 目	12-13予算	13-14予算	増 減
前年度繰越金	15,000,000	20,000,000	5,000,000
受取利息	0	0	0
特別会計へ取崩し	0	0	0
地区運営資金から繰入	5,000,000	0	△5,000,000
利息を本会計へ繰入	0	0	0
次年度繰越金	20,000,000	20,000,000	0

### 3. 世界社会奉仕基金(国際奉仕基金)

【収入の部】

(単位:円)

科 目	12-13予算	13-14予算	増 減
クラブ拠出金	0	0	0
寄附	0	0	0
受取利息	0	0	0
収 入 合 計	0	0	0

【支出の部】

(単位:円)

科 目	12-13予算	13-14予算	増 減
プロジェクト基金	0	0	0
送金手数料	0	0	0
支 出 合 計	0	0	0
収 支 差 額	0	0	0
前年度繰越金	1,773,151	682,344	△1,090,807
次年度繰越金	1,773,151	682,344	△1,090,807

### 4. R I 規定審議会派遣積立金

(単位:円)

科 目	12-13予算	13-14予算	増 減
前年度繰越金	1,254,400	654,400	△600,000
地区活動資金繰入	400,000	400,000	0
実際派遣事業	1,000,000	0	△1,000,000
次年度繰越金	654,400	1,054,400	400,000

### 5. 危機管理積立金

(単位:円)

科 目	12-13予算	13-14予算	増 減
前年度繰越金	500,000	10,000,000	9,500,000
地区活動資金繰入	9,500,000	0	△9,500,000
次年度繰越金	10,000,000	10,000,000	0

第二六六〇地区ガバナー

ガバナー・エレクト  
ガバナー・ノミネー

泉 博朗 (大阪帝塚山)  
福家 宏 (八尾中央)

岩津 陽介 (大阪御堂筋本町)  
鈴木 洋 (八尾東)  
岡田 秋子 (大阪心齋橋)  
磯田 郁子 (大阪南)  
五木 千枝 (大阪淀川)  
田村 耕 (大阪中之島)  
磯田 郁子 (大阪南)  
木村 芳樹 (大阪南)

地区幹事

代表幹事 中山 正雄 (八尾中央)  
副代表幹事 中山 敬司 (八尾中央)  
ガバナー月信 吉本 憲和 (八尾)  
ガバナー月信 山本 与志 (八尾中央)  
石川 一弥 (八尾東)  
山本 与志 (八尾中央)  
吉木 清樹 (大阪柏原)  
泉 芳樹 (大阪南)  
玉井 明樹 (八尾中央)  
川井 利宏 (八尾中央)  
松川 日出子 (八尾中央)  
川上 富清 (八尾中央)  
次期代表幹事 片岡 基博 (八尾中央)

地区財務委員会

財務委員長 片岡 基博 (八尾中央)  
会 計 小島 康彦 (大阪帝塚山)  
松本 浩一 (大阪北)

地区大会  
実行委員会

実行委員長 吉村 清明 (八尾中央)  
実行副委員長 吉本 利宏 (八尾中央)  
実行副委員長 笠井 靖彦 (大阪柏原)  
幹事 山本 与志 (八尾中央)  
大会 柳岡 雄二 (八尾中央)  
ホストクラブ会長 片岡 基博 (八尾中央)

地区協議会ホスト

八尾中央ロータリークラブ

ロータリー・コーディネーター第3ゾーン

井上 映夫 (千里)

ロータリーの友地区代表委員

鈴木 洋 (八尾東)

ガバナー協議会地区委員

大谷 透 (大阪西南)

米山記念奨学会 副理事長

近藤 雅臣 (千里)

米山記念奨学会 評議員

若林 紀男 (大阪東)

国際奉仕部門

顧問 横山 守雄 (大阪中央)

国際奉仕委員会

◎栗原 大 (大阪フレンド)  
○糸川千恵子 (大東中央)  
○安井一男 (新大阪)  
小林 哲 (吹田西)  
辻 正次 (豊中)  
大竹洋一郎 (門真)  
白方誠彌 (大阪淀川)  
木田昌宏 (吹田西)  
岩上高幸 (茨木西)  
嶽下 勇治 (大阪中之島)

ロータリー財団部門

顧問 大谷 透 (大阪西南)

地区財団監査委員会

◎岡部 泰鑑 (大阪城南)  
五味 千秋 (大阪心齋橋)  
山下 勝弘 (東大阪)

ロータリー財団委員会

◎溝畑 正信 (東大阪東)  
宮里 唯子 (茨木西)  
今西 敦之 (八尾)  
木村 芳樹 (大阪南)  
和氣 主 (大阪北梅田)

地区補助金・グローバル補助金担当グループ

◎四宮 孝郎 (大阪西南)  
山本 博史 (大阪南)  
大野 康裕 (大阪北)  
樋口 信治 (大阪)  
紙谷 正行 (吹田)  
長屋 興 (吹田西)  
吉田 政雄 (茨木)

奨学金・学友・R平和フェロシッピング担当グループ

◎梅崎 道夫 (大阪城南)  
阪上 博史 (茨木東)  
三好えり子 (大阪そねざき)  
寺崎 正也 (大阪城北)  
吉城 直孝 (東大阪)  
木下恵美子 (大阪イブニング)  
土方 慶之 (茨木)  
岩橋 竜介 (東大阪中央)

職業研修チーム担当グループ

◎田邊 司郎 (寝屋川)  
米田 真 (豊中)  
松本 浩一 (大阪北)  
今西 良介 (大阪南)  
川本 典美 (大阪ネクスト)  
品川 芳洋 (八尾東)  
栗山 博道 (大阪中之島)  
三木 元昭 (大阪大手前)  
長元 良二 (大阪咲洲)  
水島 洋 (千里メイプル)

米山奨学部門

顧問 若林 紀男 (大阪東)

米山奨学委員会

◎西谷 雅之 (大阪城南)  
○福田 治夫 (守ロイブニング)  
○近藤 菜穂子 (大阪ネクスト)  
吉田 悦治 (大阪大淀)  
田中 真人 (大阪北)  
田中 隆弥 (池田くれは)  
島井 宏子 (大阪北梅田)  
古城 紀雄 (千里)  
北山 治信 (東大阪みどり)  
三木 得生 (豊中南)  
口野 孝 (大阪東)  
中川 和之 (大阪船場)

資金推進小委員会

◎今西 敦之 (八尾)  
○領木 誠一 (大阪東)  
檜皮 悦子 (大阪中之島)  
松下 和彦 (八尾中央)

ポリオ・プラス小委員会

◎木村 芳樹 (大阪南)  
○杉村 雅之 (大阪中之島)  
山片 重房 (東大阪みどり)  
宮本 里恵 (大阪アーバン)

地区財団資金管理小委員会

◎和氣 主 (大阪北梅田)  
片岡 利雄 (大阪南)  
天野 正亮 (東大阪東)

補助金小委員会

◎宮里 唯子 (茨木西)

顧問 岡部 泰鑑 (大阪城南)

危機管理委員会

◎岡部 泰鑑 (大阪城南)  
○泉 博朗 (大阪帝塚山)  
西本 健二 (吹田江坂)  
久保 義誓 (茨木)  
松井 隆雄 (大阪天王寺)  
辻村 和弘 (大阪大手前)  
辻谷 雅之 (大阪城南)  
梅崎 道夫 (大阪城南)  
田邊 司郎 (寝屋川)  
岡村 剛行 (大阪東)  
小林 正啓 (大阪城南)  
松井 圭子 (大阪アーバン)  
菅 沼 清 高

災害支援プロジェクト

◎高島 凱夫 (大阪中之島)  
○泉 博朗 (大阪帝塚山)  
○宮里 唯子 (茨木西)  
溝畑 正信 (東大阪東)  
川上 大雄 (大塚エーザルティ)  
初木 賢司 (くすは)  
丹羽 健二 (大阪西南)  
渡邊 邦雄 (大阪城南)  
村橋 義晃 (大阪中之島)  
小林 和由 (大阪咲洲)

地区研修委員会

○○○◎  
泉大若井  
谷田林上  
博宙紀映  
朗透造男夫  
(大阪帝塚山)  
(大阪西南)  
(大阪東)  
(千里)

ガバナー補佐

新杉山川辻亀井正  
見浦田崎本井上岡  
敬英 一信義  
葵久男壽義昭信哲  
(大阪天王寺)  
(大阪船場)  
(大阪城北)  
(大阪中央)  
(東大阪)  
(寝屋川)  
(吹田)  
(池田くれは)

ガバナー補佐エレクト

植矢戸緒井西簡西  
村田田方川邨宮  
宏勝和孝智仁富  
郎利孝満三雄一夫  
(大阪平野)  
(大阪南西)  
(大阪東)  
(八尾)  
(香里園)  
(茨木)  
(箕面)

地区ガバナー指名委員会

◎  
岡松大横高  
部本谷山島  
泰新太守凱  
鑑郎透雄夫  
(大阪城南)  
(八尾)  
(大阪西南)  
(大阪中央)  
(大阪中之島)

地区諮問委員会

バストガバナー

名譽顧問  
宮高岡松大横新岩神若井寺近大菅廣戸  
田島部本山谷山谷田崎林上田藤森生瀬勘田  
宏凱泰新太守秀宙紀映和雅慈浩三郎孝  
章夫鑑郎透雄一造茂男夫之臣祥三郎夫  
(大阪北)  
(大阪中之島)  
(大阪城南)  
(八尾)  
(大阪西南)  
(大阪中央)  
(池田くれは)  
(大阪南)  
(大阪西)  
(大阪東)  
(千里)  
(大阪北)  
(茨木)  
(大阪北)  
(大阪西南)  
(八尾)

意義ある業績賞委員会

◎  
岡松高  
部本島  
泰新太凱  
鑑郎夫  
(大阪城南)  
(八尾)  
(大阪中之島)

新世代奉仕部門

顧問 岡部 泰鑑 (大阪城南)

- 新世代合同委員長会議
- ◎岡部 泰鑑 (大阪城南)
  - 西谷 雅之 (大阪城南)
  - 田邊 司郎 (寝屋川)
  - 梅崎 道夫 (大阪城南)
  - 辻村 和弘 (大阪大手前)
  - 西本 健二 (吹田江坂)
  - 久保 義誓 (茨木)
  - 松井 隆雄 (大阪天王寺)

- 青少年活動委員会
- ◎西本 健二 (吹田江坂)
  - 井上 善博 (東大阪みどり)
  - 庄司 修二 (箕面)
  - 松本 晴充 (大阪中央)
  - 松井 研次 (大阪東南)
  - 古山 柄博 (千里メイト)
  - 石川 益三 (大阪難波)
  - 石田 夏彦 (豊中千里)
  - 池田 文治 (大東中央)
  - 高橋 一雅 (大阪北)
  - 植田 昌克 (大阪北)
  - 石井 正人 (大阪フレンド)
  - 西崎 哲弘 (大阪城北)
  - 瓦谷 勝 (大阪西南)

- インターアクト委員会
- ◎松井 隆雄 (大阪天王寺)
  - 東村 正剛 (大東)
  - 足立 菅治 (大阪帝塚山)
  - 鮫島 武信 (大阪南)
  - 西 秀樹 (八尾)
  - 中野 秀一 (大東)
  - 小泉 祐助 (大阪)
  - 水取 孝司 (大阪天王寺)

社会奉仕部門

顧問 新谷 秀一 (池田くれは)

- 社会奉仕委員会
- ◎西宮 富夫 (箕面)
  - 脇 隆俊 (大阪御堂筋本町)
  - 滝川 博嗣 (門真)
  - 佐藤 剛司 (摂津)
  - 寺内 清視 (大阪天満橋)
  - 中嶋 英貴 (大阪鶴見)
  - 竹田 伸 (大阪難波)
  - 初木 賢司 (くずは)
  - 小林 知義 (植エコーカルティ)
  - 中山 正隆 (大阪リバーサイド)
  - 奥谷 英夫 (千里)

- ローターアクト委員会
- ◎久保 義誓 (茨木)
  - 山本 和良 (大阪南)
  - 丸尾 照二 (大阪御堂筋本町)
  - 前田 要之助 (大阪東淀川)
  - 松尾 治 (東大阪西)
  - 栗村 卓家 (大阪西)
  - 柳田 雅範 (東大阪)
  - 末松 大幸 (大阪淀川)
  - 長澤 利治 (茨木)
  - 田中 実 (大阪北)
  - 井上 智裕 (守口)
  - 山本 博之 (大阪東)

職業奉仕部門

顧問 松本新太郎 (八尾)

- 職業奉仕委員会
- ◎岡本 雄介 (大阪大手前)
  - 庄野 晋吉 (大阪)
  - 北川 忠嗣 (東大阪)
  - 木越 正司 (大阪西)
  - 堀田 修平 (枚方)
  - 黒松 克行 (大阪城東)
  - 國田 欣吾 (くずは)
  - 朝倉 通憲 (高槻)
  - 鈴木 公平 (大阪心斎橋)
  - 田中 徳彦 (大阪西南)
  - 河合 秀行 (大阪西北)

クラブ奉仕部門

顧問 高島 凱夫 (大阪中之島)

- クラブ奉仕・拡大増強委員会
- ◎吉村 昭 (大阪平野)
  - 福田 忠博 (大阪中之島)
  - 齊城 正之 (豊中大阪国際空港)
  - 榎本 桂子 (寝屋川)
  - 中平 公士 (大阪東)
  - 松崎 達郎 (大阪東南)
  - 東村 高良 (大阪うつぼ)
  - 中島 武 (大阪みおつくし)
  - 新居 誠一郎 (大阪南)
  - 峠本 敏夫 (交野)

- 広報委員会
- ◎岡村 剛行 (大阪東)
  - 平野 誠治 (大阪西北)
  - 梅原 一樹 (大阪中之島)
  - 片山 一步 (大阪帝塚山)
  - 松任 保勇 (大阪中之島)
  - 林 邦彦 (大阪西)
  - 石田 秀 (大阪西南)
  - 上場 俊哉 (高槻東)
  - 小森 敏鑑 (大阪南西)

◎:委員長もしくはリーダー  
○:副委員長もしくはサブリーダー  
※新世代合同委員長会議においては  
◎:議長



**Rotary International**  
**District 2660**